



# 会報



THE ROTARY CLUB 鶴岡ロータリークラブ  
OF TSURUOKA

斎藤得四郎氏絵

会報はご家族みんなで読みましょう

## 第664回例会 1972.8.1 (火) 晴 No.5

例回日 火曜日 12時30分  
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
会長 阿部 囊 幹事 市川輝雄

Let's Take A New Look.!

「もう一度 見直そう」

### ■出席報告

本日の出席

会 員	数	63名
出 席	数	50名
出 席	率	79.37%

前回の出席

前回出席率	80.95%
修正出席数	56名
確定出席率	88.89%

### 欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、早坂(徳)君、平田君、  
石井君、三井(徹)君、三浦君、斎藤(信)君、  
佐藤(忠)君、谷口君、津田君、上野君、  
藪田君

### マークアップ

長谷川(悦)君、石黒君、今野君、廖君、  
鷲田君一鶴岡西RC

■司 会 阿部会長

## ■ソング 奉仕の理想 リーダー 市川幹事

### ■ピジター

野 尻 一 彦 君 (川西 R・C)  
角 田 勤 君 (沼田 R・C)  
齋 藤 繁 雄 君 (村上 R・C)  
小 林 忠 康 君 (鶴岡西 R・C)  
菅 原 松 雄 君 (鶴岡西 R・C)

### ■お誕生おめでとう

#### 会員誕生

安藤定助君、早坂源四郎君、三井徹君、  
三井賢二君

#### 奥様お誕生

三井章様 (健君)  
佐藤奈津子様 (伊和治君)  
手塚峰子様、風間慶子様

### ■年間皆出席者

9年間皆出席 五十嵐伊市郎君

#### 7月100%出席者

阿宗君、阿部(襄)君、安藤君、張君、  
森田君、長谷川君、早坂(源)君、佐藤  
(順)君、市川君、飯白君、池内君、石井君  
石黒君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、  
五十嵐(八)君、今野君、海東君、田中君  
上林君、黒谷君、小花君、小池君、中野君  
嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井  
(健)君、中山君、小野寺君、廖君、齋藤  
(栄)君、齋藤(得)君、佐藤(昇)君、佐藤  
(忠)君、鈴木(善)君、新穂君、笹原君、  
鈴木(弥)君、高橋君、小松君、手塚君、  
富樫君、上野君、鷲田君、藪田君

### ■幹事報告 市川幹事

・酒田、酒田東、遊佐、八幡 R・C 合同例会  
のため——例会変更通知

8月8日 5時 酒田産業会館4F

### ・会報到着……石巻東 R・C

・7月25日クラブ協議会を開催し各委員会の活動計画案を協議し決定、あわせて予算案も決定いたしました。8月15日の例会で配布報告いたします。

・ロータリー情報委員会の活動の一環として8月～10月毎例会日12時15分より10分間情報委員会で「ためになるロータリー教室」を開催します。新しい会員の方々だけではなく全会員による受講を強く要請いたします。

▷オハイオ州国際親善合唱団を迎えるにあたり高橋君より準備状況の報告があり、結びに歓迎にあたってのクラブ会員の心からなる協力を求められた。尚、早坂(源)君より夏期食中毒の発生し易い時期なのでこれが歓迎時の食事については特段の注意がはらわれるべきである旨の発言があった。これについても阿部会長、高橋委員より万全の体勢がとられている旨の報告がなされた。

▷小花君よりニュージャージー州シートンホール大学の歴史研修団員の中から発生した食中毒の罹病についての報告——研修団一行は強行軍のため体力が弱っている所に暑さが重なり食生活の変化からの一部罹病であったが4～5日で全員元気に回復し次の研修地に向かった。

### ▷ロータリー情報 (3) 張情報委員長

#### ロータリーとは何にか

ボールハリス精神を持つ会員のあつまりである。

#### ボールハリス精神とは何にか

人は死ななければならない。人間の一生は淋しいものだ。同じ心を持つ友人を集めお互いに慰め合いはげまし合って、自分の職業を通じ、人の身になって一世の中のため

になる教育的なプログラムを実施し、親睦と奉仕の理想を、誠心誠意自ずから求める心を云う。

#### クラブとは何にか

研修、親睦などのために、同じ目的をもつ人々が集まって作った団体である。またその集会所である。

#### ロータリーの根本理念は何にか

自分の尊い職業を成功させ繁栄させることは勿論第一義的なことであるが、その上に各自の職業を通じ、慈善的な、利他的な奉仕で世の中の教育に資するようなことを実行することである。しかも、その行っていることが他人から利己的な奉仕と見られないことが必要である。世界万国の人々がこのような奉仕の気持ちを持ち合うならば、必ずや各自が、共存共栄の中で調和のとれた世界平和が築かれるであろうと云うのがロータリーの根本理念である。

#### 我等の歩みはどうあるべきか

我等の歩みは〔奉仕の理想〕〔綱領〕〔四つのテスト〕〔五つのテスト〕を夫々実行することである。

##### 〔奉仕の理想〕

ロータリーの云う、奉仕の理想と起我の奉仕とは何にか

1. 利他的奉仕に基づく慈善である。
2. 利他的奉仕に基づく教育的プログラムの実施である。
3. しかも利己的な奉仕と解釈されないようにやることである。

##### 〔ロータリーの綱領〕 Object ob Rotary

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓舞し、これを育成し、特に次の各項を鼓舞育成するにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拡めること。

2. 実職及び専門職業の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な職業は尊重されるべきであると言う認識を深めること、そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてがその個人生活職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。
5. 終結は、世界は共存共栄で調和のとれた世界平和の獲得にある。

##### 〔四つのテスト〕

実行はこれに照らしてから

1. 真実か、どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか、どうか

##### 〔五つのテスト〕

調和のとれた世界平和確立のために

1. 他人を思いやりましょう
2. お互いに助け合いましょう
3. 自分の職業を繁栄させましょう
4. 自分の職業を権威あらしめましょう
5. 誠心誠意努力いたしましょう

〔つづく〕

#### ■スピーチ (663回例会で)

スピーカー 徳永昭一郎 教諭

朝鳴第二小学校 勤務

経歴

昭和30年鹿児島大学教育学部卒

鹿児島市立中山小学校より

昭和47年4月赴任する

交流期間 2カ年

〔かごしま と つるおか 見聞所感〕

鹿児島を出てきたのは丁度4月5日です。

こちらに来る前日県の教育庁に行き挨拶をいたしました所、運よく鶴岡より私と同じく鹿児島に行かれました齋小学校の稲村先生にお逢いました。その時稲村先生が私に非常に印象的な言葉を残して下さいました。

「鶴岡は非常に良い町だ。しかし冬は用心して欲しい。内陸は頭の上から雪が降るが鶴岡は下から降るんです。」同席しておりました鹿児島の教育庁の人々は皆んなして、どういことなのか想像もつかず驚いておりました。よくおききしますと、冬は非常に風が強くて下から降るように見えるのだとのことでした。初体験の私、楽しみにしている次第です。

東京で一泊し7日夜鶴岡に着きました。7日「いなほく」で来たわけですが水上をすぎて川端先生が雪国の中で「トンネルをこしたら雪国があった」の文章もとんと忘れておりました所、連れてまいりました子供達が「ア！山に雪が積もっている」と騒いでおります。私は雲が山についているのだらうぐらいに思っただけでよく見ると本当に雪が積もっているのが分かり列車の中で家族4名「雪だ、雪だ」とさわいで他の人々にケゲンな人種と見まちがえられてまいりました。これ程にこちらに来たのが初めてのため見るもの、きくもの、みなめずらしく興味ぶかく感ぜざる次第です。

7日夜鶴岡駅には朝陽2小の先生方、教育委員会の方々、PTAの方々の非常にあたたかい観迎を受けました。その時は緊張していたせいか寒さは余り感じなかったのに旅館の鶴岡ホテルに泊りましたとたんに寒さのきびしいのおぼえたのが印象的に残っております。こんなにも違うものなのかと云うこと鹿児島を出る時はあせを流し上衣をぬいで出て来、鶴岡に着いたらきびしい寒さにおそわ

れる。本当に気候の相違とか遠くまで来たものだという印象を深めたわけです。しばらくたつうちに朝が非常に早い、毎日目覚めるのが早くなったことに気付く諸先生方にこの疑問をおたづねした所、一先生がご研究された次のことを知らせて下さいました。それは日出・日没時間の鹿児島と山形の表です。

6月の夏の季節

	日ノ出時間	日没時間	日昇時間
山形	4時15分	19時05分	14時間50分
鹿児島	5時13分	19時25分	14時間12分

6月夏は山形は日昇時間が38分多いことになります。

12月冬の季節

	日出時間	日没時間	日昇時間
山形	6時54分	16時25分	9時間31分
鹿児島	7時15分	17時21分	10時間07分

冬は鹿児島の方が日昇時間が36分長くなります。このことは鹿児島から来た私でないと感じられないことかもしれませんが非常に貴重な体験をいたしました。

それから生物季節などを調べてみました

梅の開花日、鹿児島は	1月20日頃
鶴岡は	3月31日頃
桜の開花日、鹿児島は	3月29日頃
鶴岡は	4月17日頃

〔今年は鹿児島も早く3月20日は桜は咲いていました。卒業式に桜の花をみながら子供達を送りました。東京で第2回目の桜の花を見ました。そして鶴岡にまいりまして4月17日頃すばらしい鶴岡公園の桜の花を第3回目として観賞させていただきました。タクシーの運転手さんが（鶴岡の桜はすきまがありませんよ）と云われ半信半疑でございましたが実際に見てビックリしておりました。鹿児島ではこれだけびっしりとつまった桜は見られません〕

つばめをはじめ見る頃

鹿児島 3月10～15日頃

鶴岡は 4月4日頃  
セミのなき始め 鹿児島 7月26日頃から  
鶴岡は 7月18日頃

(鶴岡は早めにすずしさがやってくるのだと云うことがわかります) これらのことから季節の違いが非常に感じられるわけで風俗風習たべるもの等も変わってくるのだと思います。

鶴岡にきて古い都市をあげわいさせていただいておりますが、本当の日本の心があっちこちに残っている感じがしてなりません。私、鶴岡市が開催しております市民講座の郷土史の研究の講座に参加して3回程犬塚先生、戸川先生の講話をおききし、民俗・民具のすばらしさを十分に味わらせていただいております。致道館にも行き南国鹿児島ではみられないすばらしいものがありますのでぜひこのことを鹿児島に知らせてやりたいと思っております。

市立朝陽第二小学校にお世話になっております。当初私が鹿児島から来るということでも分バンカラな、体格の大きい男だろうと先生方の大方の期待であられたようです。ちなみに校長先生云わく(大変な先生が来るのではないかと期待いたしておりましたがごく普通の先生が来てくださって安心いたしました)と云われました。私も安心した次第です。

4月8日はじめて鶴岡の子供と会いました。こちらの子供達は未だ寒い故か長ズボンをはいてジャンパーを着て厚着であつくるしい感じを受けました。

鹿児島の子供は冬も半ズボンです。なるべく空気に皮膚をふれさせる。これが身体を健康にする基本だと信じてやっているわけです。しかも運動ぐつに運動帽子をかぶってキリットした型を鹿児島の人々は好みますが、これを子供のシツケとしてキリットした型を子供に整いさせております。

こちらにきて子供達がさまざまな様子をしているのを見てノンビリとしているのかなと思っておりました。が子供達は非常に素直です。大変人なつこく、あかるく都会的な顔をしております。色の白いのにはビックリしております。ですが教室に入って見て初めの印象はダラダラとしてシマリのない感じを受けました。

職員室に入って女の先生が多いのに驚ろきました。鹿児島の場合は7:3の割合で男の先生が多い。女の先生は非常に大事にされております。学校の仕事の中で主なる仕事は男の先生がやっています。所で朝陽2小ですが2:1の割合で女の先生が多い。しかも女の先生の働き振りは男の先生にまけないくらいすばらしい働きをなさっており北国の女性の方々のすばらしさを再認識させていただいている次第です。

私3ヶ月経過してこちらの先生方の研究への意欲は「子供を大事にしてゆこう」と云うねばり強い研究欲のあることに敬服しております。何んとか子供達一人一人を大事にしてゆこう、と云うその姿が見受けられて、私本当に鶴岡に来て良い勉強をさせていただいております。鹿児島でも教育研究会があって全市で「一人一人の力を伸ばすにはどうしたら良いか」のテーマを中心に研究していますが甚だむづかしい様ですがこちらの先生方は一人一人がすでに心掛けて実践していらっしゃることに大変興味を覚えて敬服している次第です。

私3ヶ月間朝2小の一つのクラスを受持っておりますが子供達は「ヒントさえ与えればどンドン自主的な勉強をする子供たちで楽しみだなアク」と思います。中にはすでに自分の力に対してあきらめかけた子供もおったようですが過日私「可能性」のことを話しましたところ、子供達は目をかがやかせながらいきい

てくれたのが印象に残りました。もっと子供達がノビノビとがんばれるものを作ってやらなければいけないのではないかと思います。

鹿兒島の教育についてお話をします。

鹿兒島の教育の根底にあるのは一造士館ゾウシカン—明治時代に作られた藩校ですがそこでの教育の基本目標が今でも流れております。

一次の5つ目標です—

[1] まけるな

人にまけるなということではなく、弱い自分の心や、なまけようとする心にまけるなと云うことです。

[2] はじをしれ

青年・子供達は非常に純真で清潔で心身共に非常にきれいである。それをきたなくするのは、はじを知らないからだと云うことを子供達に教えるのです。

[3] 弱いものをいじめるな

弱い者を助けようとしてゆこうとする心

[4] 議を云うな

お前理屈をいうなと云うことではなくて口をひらいて実行できないことをいうなと云うことです。実行できることを云うということを鹿兒島の人々は良く子供に伝えております。

[5] うそを云うな

うそを云うのはドロボーのはじまりと云うごとく、子供は絶対にうそを云わない様にしてつけております。

これらの目標は当地致道館の教えの中にも流れております。

鹿兒島版の6年「みんなのどうとく」の本の中で「鶴岡城の降伏」の項目があります—鹿兒島市上竜尾町の南州墓地に「件兼之」「榊原政治」という2つの墓があり、裏に「庄内藩士」と書いてあります。1877年の西南の役に庄内藩士が薩摩藩士といっしょに西郷隆盛のひきいる私学校生徒と共に官軍と戦

い戦死したのには、つぎのような、薩摩と庄内についての話があります。—の序文に始まり、1868年庄内藩の藩主酒井忠篤と西郷隆盛の関係—城明け渡しの官軍参謀黒田清隆の取計らい—1870年酒井忠篤、鹿兒島に渡り西郷の教えをうける—そして—明治百年を記念して、鹿兒島市は、山形県鶴岡市と姉妹都市の約束を結びました。こうしていつまでも、北と南が手を取り合って発展していくことをちかい合っているのです。—と結んでおります。

とかく郷土の歴史や偉人を忘れがちです。郷土の歴史や偉人を教えながら豊かな自発的意欲ある子供に育てるよう努力いたすつもりであります。